

第 38 回エアロゾル科学・技術研究討論会 講演募集および参加募集のお知らせ

●日時：2021 年 8 月 26 日（木）・27 日（金）

●会場：熊本県立大学（熊本県熊本市東区月出 3 丁目）

主催：日本エアロゾル学会

第 38 回エアロゾル科学・技術研究討論会を 2021 年 8 月 26 日（木）・27 日（金）の 2 日間、熊本県熊本市東区にある熊本県立大学にて開催する予定です。エアロゾル研究に携わる研究者・技術者の交流や情報交換の場として有意義な討論会にするため、多くの方の発表・ご参加をお待ちしております。今回は一昨年度、昨年度に引き続き、2 日間の日程で実施いたします。討論会では、例年のとおり一般講演（口頭発表・ポスター）、シンポジウム、特別セッション（井伊谷賞）を開催し、討論会の前日（8 月 25 日（水））には、第 24 回エアロゾル基礎講座および若手討論会も開催します。また、2014 年以来実施している学会誌「エアロゾル研究」との連携も企画しております。講演要旨集の電子化（USB 配布）についても継続して実施しますが、事前送付は原則として行いません。なお、討論会プログラムと基礎講座の詳細は、学会ホームページ（<http://www.jaast.jp/home-j.shtml>）と討論会ホームページ（<http://sites.google.com/site/jaastC/jaast38km/home>（jaast38km で検索可））にて随時更新予定ですので、そちらをご覧ください。

現在のところは現地開催の方向で準備を進めていますが、今後の新型コロナウイルス感染症の状況によっては、一部オンライン参加、あるいは第 37 回のようにオンラインでの開催となる可能性もあります。開催形態変更の際は学会ホームページや学会事務局からの電子メールでお知らせしますので、情報にご留意いただきますようお願いいたします。

【開催日時】 2021 年 8 月 26 日（木）・27 日（金）

【会場】 熊本県立大学（講義棟 2 号館中講義室 1、中講義室 2、大ホール等）（<https://www.pu-kumamoto.ac.jp/others/access.php>）
・公共交通機関：「JR「熊本駅」からは「桜町バスターミナル」へ、「阿蘇くまもと空港」からは水前寺駅へ
さらにバス（バス路線：H1-1, H2-1, H3-1）で「県立大通り」または「県立大学前」バス停から徒歩 1 分

【宿泊】 熊本市内のホテル（桜町バスターミナル・市役所・水前寺駅付近が便利、熊本駅付近は要乗り換え）

【日程概要】

	研究討論会等	展示
8 月 25 日（水）	基礎講座 若手討論会	
8 月 26 日（木）	一般講演（口頭発表・ポスター発表） シンポジウム・総会・特別セッション・ メーカープレゼンテーション	機器・カタログ展示
8 月 27 日（金）	一般講演（口頭発表）、シンポジウム	機器・カタログ展示

シンポジウムテーマ（オーガナイザー）趣旨

- A1 「エアロゾルの長期変動と気候変動」（原 圭一郎，小島 知子）** 長期に渡り積み重ねられてきた観測・研究によって、自然あるいは社会環境の変化に対応したエアロゾルの変動データがまとまりつつある。一方で、地球温暖化をはじめとする気候変動の議論のかたわら、変化しつつある地域規模での大気環境にエアロゾルがもたらす寄与の現状を、改めて整理する必要性が考えられる。本シンポジウムを今後の具体的な課題を捉えるための議論の場としたい。
- A2 「エアロゾルと情報科学（AI）」（林 政彦，中山 智喜）** エアロゾル科学の課題の多くはその複雑さと不確実性に起因することが多い。近年、発展がめざましい情報科学・AI の貢献は、人間が直感的に捉え難い複雑系の科学において特に期待される。本シンポジウムは、これまでにエアロゾル科学の分野で蓄積・研鑽された知見を情報科学・AI の分野との融合で発展させていくための、挑戦的なアイデア交換の場としたい。
- A3 「閉鎖空間のエアロゾルと健康リスク」（森本 泰夫，馬 昌珍）** 局所的あるいは閉鎖性の高い空間における汚染物質の曝露およびその健康影響の評価は、社会的にも関心が高く身近なリスクに関する課題である。開放的な室外・大気における曝露とは濃度や頻度が異なり、公衆衛生学的にも区別して議論する必要がある。本シンポジウムでは、地下鉄構内や作業空間など閉鎖性の高い空間内での研究事例を紹介し、健康リスクについての知見を深めるための議論を行う。

【現地実行委員会】 委員長 張 代洲（熊本県立大学）

実行委員 稲村 麗美（熊本県立大学）、小島 知子（熊本大学）、中山 智喜、山口 真弘（長崎大学）、
馬 昌珍（福岡女子大学）、原 圭一郎、白石 浩一（福岡大学）、森本 泰夫（産業医科大学）、
福島 聡（山口東京理科大学）

【本部実行委員会】 委員長 林 政彦（福岡大学）

実行委員 五十嵐 康人（京都大学）、石松 維世（産業医科大学）、荻 崇（広島大学）、諏訪 好英（芝浦工大）、
鶴丸 央（東京都環境研）、萩野 浩之（自動車研）

講演申込方法

【講演申込締切：2021 年 4 月 28 日（水） 講演要旨締切：2021 年 5 月 31 日（月）】

講演申込は、学会ホームページ（<http://www.jaast.jp/new/home-j.html>）の講演申込フォームへの必要事項入力を原則とします。この申込が困難な場合に限り、ページ下端に示す問い合わせ先への電子メールによる申込を受け付けます。

重要！：講演申込の期限延長は行いません。4 月 29 日午前 0 時で入力是不可となりますので、ご注意ください。

【発表資格】口頭発表での登壇者、ポスター発表者は本学会会員に限り（依頼講演を除く）。

1. 講演応募分野（該当項目を選択、複数可）

- A1 シンポジウム「エアロゾルの長期変動と気候変動」
- A2 シンポジウム「エアロゾルと情報科学（AI）」
- A3 シンポジウム「閉鎖空間のエアロゾルと健康リスク」

B. 一般研究発表：

- 1) 生成と性状（燃焼を含む）、2) 測定、3) 動力学と沈着現象、4) エアフィルタと集塵、5) 大気エアロゾル、6) 生体影響、7) 室内エアロゾル、8) クリーンルーム、9) エアロゾルの利用、10) その他

C. 特別セッション

2. 講演内容の分類（該当項目を選択）

- A. 未発表の研究
- B. 既往研究のまとめ
- C. 既発表の研究

3. 発表形式（該当項目を選択）

都合により変更をお願いする場合があります。

- A. 口頭発表
- B. 一般ポスター発表
- C. A と B のどちらでもよい
- D. 特別セッション（井伊谷賞）
- E. 若手口頭発表（ベストプレゼンテーション賞選考対象）
- F. 若手ポスター発表（ベストプレゼンテーション賞選考対象）

4. 原稿種別 A. 通常原稿

B. 学会誌論文投稿原稿

5. 講演題目

6. 発表者の所属・氏名（講演者には○印）

7. 講演概要（100 字以内）

8. 英文題目

9. 発表者の英文所属・氏名

10. 連絡担当者の氏名・連絡先

（所属機関、郵便番号、住所、電話番号、ファクス番号、E-mail アドレス）

11. 講演者の会員番号

〈講演要旨原稿執筆要項〉

(A4 判用紙) ↑ 20 mm

(印字範囲) 和 文 題 目 ←できるだけ中央へ

Title

(所属 1) ○氏名 1*, (所属 2) 氏名 3**
(連名の場合は講演者に○印, *印は脚注の英文と対応させる)

Abstract (200 words)

はじめに (もしくは Introduction)

...

講演要旨原稿執筆要項

- 日本語または英語のいずれかで、A4 判白紙に印字してください。枚数は、図表も含めて 2 枚以内とします。ただし、「学会誌論文投稿原稿」につきましては 2 枚以上 6 枚以内とします。講演番号とページを後から入力しますので、原稿には上下左右 20 mm ずつの余白を必ず取ってください。
- 和文原稿、英文原稿いずれの場合も 1 ページ目はこの様式に従ってください。
- タイトルは本文よりも大きい文字で、できるだけ中央に、研究者氏名は「(所属) 氏名」の順に右側に寄せて書く。発表者には○印を付ける。下欄に英文で氏名、所属、住所を記入して、和文の発表者名と*印と対応させる。
- 原稿 1 ページに対し、文字サイズ 10 ポイントで 24 字×49 行×2 段を基準としますが、多少異なっても構いません。
- 和文原稿の場合も、Abstract、図・表・写真の説明、記号表、文献は英語で書いてください。Fig. 1, Table 1, Nomenclature, References などとします。
- 討論会ウェブサイト「見本」を置きますので参考にしてください。
- 講演要旨原稿の著作権は日本エアロゾル学会に帰属します。

* 英文で氏名、所属、所在地を載せる。（* 和文の発表者名と対応）
** (2 ページ目は 1 行目から書き出す。当欄はなし)

← 20 mm

↑ 20 mm

〈講演要旨原稿の作成要領〉

右に示す執筆要領に従ってください。

- ・31 回討論会から、通常の講演要旨（通常原稿）の枚数は 2 枚以内としています。
- ・学会誌論文投稿原稿の作成要領は、次ページを参照してください。
- ・要旨集は電子媒体で配布しますので、図はカラー可です。

〈講演要旨原稿の提出〉

講演要旨は pdf ファイルで 38jaast_2021@fukuoka-u.ac.jp へお送りください。締切は、通常原稿、学会誌論文投稿原稿ともに **5 月 31 日** です。

【講演申込および講演要旨に関する問合せ先】

第 38 回エアロゾル科学・技術研究討論会 本部実行委員長 林 政彦 E-mail: 38jaast_2021@fukuoka-u.ac.jp

発表する内容をぜひ論文に投稿しませんか？

—研究討論会と学会誌「エアロゾル研究」との連携企画について—

エアロゾル科学・技術研究討論会での発表内容は質が高いにも関わらず、その成果が学会誌である「エアロゾル研究」の掲載になかなか繋がっておりません。「エアロゾル研究」を研究交流の場として再度捉え直し、原著論文を増やすことで研究のアイデアや共同研究の種を沢山蒔いていくことが必要だと考えております。研究討論会の発表で止まっても、オリジナリティーがあり、広く情報共有したほうが良い研究も沢山あると思われます。

以前は討論会論文特集号として、討論会の発表と論文の投稿を募集しておりましたが、一昨年からは、特集号という形は取らずに募集し、論文をより投稿しやすいように見直しました。今年も昨年と同様に募集いたします。投稿料などの費用面で通常の論文投稿よりお得になっておりますので、会員の皆様におかれましては、本企画に対してご理解をいただくとともに、討論会の成果をぜひ「エアロゾル研究」に投稿していただきますようお願い申し上げます。

編集委員長 藤谷 雄二

実施要項

- 4月28日 討論会講演申込締切（原稿種別で「B. 学会誌論文投稿原稿」を選択）
- 5月31日 討論会講演要旨提出締切（討論会講演要旨の執筆要領による2～6ページの原稿を提出）
※申込時に論文投稿原稿を選択していなくても、要旨提出時に論文投稿原稿に変更することも可とします
- 6月30日 エディターによる一次審査の結果通知（講演要旨をもとに論文として成り立つ見込みがあるかどうか審査）
- 8月26・27日 討論会講演
- 9月30日 論文原稿提出締切（討論会での意見交換も踏まえて「エアロゾル研究」の指定テンプレートを使用して提出）

- ・投稿は原著論文（研究論文、技術論文、レビューペーパー、研究速報、ノート、討論）に限り、他の学術的刊行物に公表されていないものを受け付けます。
- ・討論会での口頭発表については、議論をより深めるため、希望者には通常発表より時間を若干長く取る予定です。なお、プログラム編成の都合により希望に添えない場合があります。
- ・投稿に必要なテンプレートや書類の電子ファイルは、学会ホームページ「刊行物のご案内」（http://www.jaast.jp/new/guidance_publications.html）よりダウンロードしてください。
- ・投稿論文としての取り扱いは、「エアロゾル研究」の投稿規定に従います（次の点を除く）。
- ・論文が採択された場合、**投稿料を無料**にします（カラー印刷代は通常どおりです）。また、冊子版のモノクロ図表を電子ジャーナル（J-STAGE）上でカラーに変える場合の経費（図表1点あたり1000円）を無料にします。
- ・学会誌の37巻1号（2022年3月発行）または37巻2号（2022年6月発行）への掲載を目処として審査を進めますが、掲載号は審査状況等によって変わります。

エアロゾル関連機器およびカタログ出展のお願い

第38回エアロゾル科学・技術研究討論会開催中（2021年8月26・27日）に標記展示会を開催します。エアロゾル関連機器や書籍、標準物質等に関する情報を、参加者へ伝える絶好の機会ですので、機器・カタログ出展をいただきたくご案内申し上げます。詳細については、下記までご連絡ください。

【問合せ先】 第38回エアロゾル科学・技術研究討論会 本部実行委員長 林 政彦 E-mail: 38jaast_2021@fukuoka-u.ac.jp

井伊谷賞とベストプレゼンテーション賞について

【井伊谷賞】は、特別セッションでの優れた発表を対象とします。エアロゾルに関する萌芽的な研究、問題点の指摘、新しい分野の開拓、未来志向の夢のある話題など、学会の発展・活性化に寄与するものについて、遊びとゆとりの気持ちをもって発表してください。

○対象者と審査の力点、受賞者の表彰

特別セッションで会員（個人会員・学生会員）によって発表されたものに限り、発表内容だけでなく、制限時間（発表 5 分（厳守）、質問 10 分）内に、いかに聴衆にアピールしたかにも審査の力点が置かれます。受賞者には、賞状、および副賞（賞金 10 万円）が贈られます。

【ベストプレゼンテーション賞】は、若手口頭発表および若手ポスター発表での優れた発表を対象とします。

○対象者と審査の力点、受賞者の表彰

発表者が本年 4 月 1 日現在で 35 才以下の個人会員・学生会員であり、かつ発表する研究・開発において中心的役割を果たしていることが必要です。研究・開発の完成度よりも、研究・開発内容を的確にスライドやポスターに表しているかどうか、スライドまたはポスターの見やすさ・わかりやすさ、質疑への対応などの発表姿勢、今後の展開や可能性が期待されるかどうか、といった観点で評価します。受賞者には、賞状、および副賞（賞金 3 万円）が贈られます。

参加申込方法

【事前参加申込締切：2021 年 7 月 30 日（金）】

参加申込は、学会ホームページ（<http://www.jaast.jp/new/home-j.html>）の参加申込フォームに必要事項を入力の上、送信してください。また、電子メール・ファックスによる申込は、必要事項〔参加者名、連絡先（所属機関、住所、TEL、FAX、E-mail）、会員（個人、学生、法人）・共催・協賛団体会員・非会員（一般、学生）の種別、送金内容、送金合計、送金予定日、請求書の要・不要〕を下記へ送信ください。この表にある参加費は、現地開催の場合のものとなります。オンライン開催、あるいは一部オンライン参加の場合は、参加費や事前申込の日程が変更になる可能性がありますので、学会事務局からの連絡にご留意ください。

< 研究討論会参加費 > 参加費には講演要旨集 USB（討論会受付で配布します）が含まれています

		7 月 30 日まで	開催当日	備考
参加費	学会員（個人会員・法人会員＊）	6,000 円	7,000 円	* 1 社につき 3 名まで
	学会員（学生）	3,000 円	4,000 円	
	共催・協賛団体会員	8,000 円	9,000 円	
	非会員（一般）	15,000 円	16,000 円	
	非会員（学生）	6,000 円	7,000 円	学生証提示要
討論会には参加せず、研究討論会要旨集（電子媒体）のみ購入		学会員	3,100 円	
		非会員	4,100 円	

【参加費支払方法】

締切日までに、後日送付する振込用紙の通信欄に印刷の送金内容にチェックを入れ、下記口座までお振込みください。郵便局備え付けの振込用紙（手数料送金者負担）をご利用の場合には、通信欄に必ず「討論会参加費、基礎講座受講料等」送金内容に相当するものを明記してください。銀行より振込の場合も、支払参加者の個人名がわかるようにお振込みください。締切日までに入金が確認できない場合、参加費は当日会場受付扱いとなります。入金後の払戻しは致しません。

郵便振替口座：00930-6-272815 口座名義：エアロゾル科学・技術研究討論会実行委員会
銀行から振込みの場合は、ゆうちょ銀行口座：店番：099 当座 0272815

〈事前参加申込・送金締切〉2021 年 7 月 30 日（金）必着厳守（この日までに入金が確認できない場合は当日会場受付となります）

【参加登録（参加費等）に関する問合せ先】

日本エアロゾル学会事務局

（学会事務局は 2021 年 4 月より移転します。新事務局の連絡先については本誌 91 ページの会告をご覧ください）